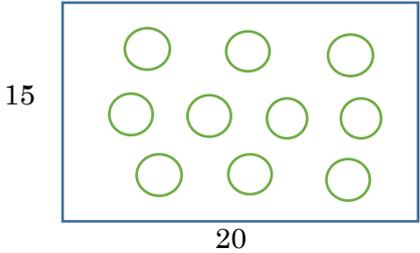


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 ボトルキャップ開閉器</p>	<p>【学校名】 日立市立日立特別支援学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動</p>	<p>【制作者名】 石井 裕美子</p>
<p>【制作の意図】 自席に着くことが苦手な生徒のため離席をできるだけ減らせるよう、集中する時間をつくる。更に手先の訓練につなげる。</p>	<p>【使用方法】 ボトルキャップを開ける・閉める色を指示し同色で並べる。</p>
<p>【制作上の工夫】 適度な硬さがあり、衝撃に強く噛んでも危険でない。落としても割れない素材を使用。 キャップに色分けシールを貼り識別できるようにした。</p>	<p>【見取り図】</p>  <p>キャップの間隔は 3 cm</p>
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】 離席回数があきらかに減少し、集中する時間も増加傾向である。 キャップに指示してある色分けシール 以外にも数字や動物など、他の指示にも換え興味の変化や集中の度合いを測る。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 食用保存容器 空ペットボトル 色分けシール</p>	